

第11回長野県U-11サッカー選手権大会（チビリンピック長野県予選）

大会要項

1. 名称 第11回長野県U-11サッカー選手権大会（兼チビリンピック長野県予選大会）
2. 主催 一般社団法人長野県サッカー協会
3. 主管 一般社団法人長野県サッカー協会4種委員会
4. 日程 2025年10月26日（日） 予選リーグ あがた運動公園多目的広場・信州グリーンフィールドかりがね
11月8日（土） 準々決勝 あがた運動公園多目的広場
11月29日（土） 準決勝 佐久総合運動公園陸上競技場
11月30日（日） 3位決定戦／決勝 佐久総合運動公園陸上競技場
5. 参加資格 (1) 2025年度（公財）日本サッカー協会第4種に登録されたチームであること。
(2) 上記チームに所属する選手であり（公財）日本サッカー協会発行の上記チームの選手証（電子選手証を含む）を有する、2025年4月1日現在小学校5年生以下であること。
※チームに5年生の所属選手がいない場合は、4年生以下でのチームの参加を認める（5年生が主となる大会として、チーム編成を配慮すること）。
(3) 登録人数は19名（役員3名・選手16）を最大とする。
※2025年度より、ベンチ入りスタッフはD級以上のライセンス保持者とする。
ライセンスを保持していない役員はベンチに入ることができない。
(4) 審判員2名（内1名は3級以上）を大会期間中帯同できること。
(5) 県代表2チームに選ばれた場合、北信越大会（2026年3月石川県開催）に原則として出場できること。
※北信越大会からは16人～18人登録の3ピリオド制となるため、出場権を付与されたチームが参加を辞退した場合には、次点（3位より順番）のチームに出場権が付与される。
(6) 1クラブから複数チームのエントリーを可とする。ただし、以下の条件を満たしていること。
①チーム名は（公財）日本サッカー協会への登録チーム名+A、B・・・とすること。
その他の名称を追記することは認めない。
②1チームに5年生が4名以上登録されていること。
③チーム役員・審判は、複数チームに重複して登録することは認めない。
④選手の変更は、申込期限内（10/7）であれば複数チーム間の移動を認める。
申込期限後から自チームの初戦の開始60分までは、選手の追加と背番号の変更のみ認める。
6. 組合せ (一社) 長野県サッカー協会4種委員会による責任抽選とする。
7. 競技方法 予選リーグ＋トーナメント方式
○予選リーグ
・前後半15分ハーフの30分ゲームとし、インターバルは5分とする。
・同点の場合はPK戦（ペナルティーシュートアウト）方式（3名）を行う。
・順位の決定方法は、
①勝ち点（勝ち3・PK勝ち2・PK負け1・負け0）②得失点差③総得点④当該チームの勝敗
⑤PK戦（ペナルティーシュートアウト）方式（3名）
○決勝トーナメント
・前後半20分ハーフの40分ゲームとし、インターバルは7分とする。
・勝敗が決しない場合はPK戦（ペナルティーシュートアウト）方式（3名）により次戦への

進出チームを決定する。

- ・準決勝、3位決定戦、決勝は10分間の延長戦（前・後半各5分）を行い、なお決しない場合はPK戦（ペナルティーシュートアウト）方式により勝利チームを決定する。

8. 競技規則 (公財) 日本サッカー協会「2024/2025 競技規則」および「8人制サッカー競技規則」による。

(1) 試合時間

試合時間は上記に定める方式にて行う。PK戦（ペナルティーシュートアウト）に入る前のインターバルは原則1分間、延長戦に入る前のインターバルは原則5分間とする。

(2) 試合球

4号公認球を使用する。(各チーム持参)

(3) 競技者の数

- ①常に8人（内1名はゴールキーパー）で競技する。
- ②試合開始時8人に満たない場合は試合を行わず、敗戦したものとみなす。
- ③競技者が退場処分を受けた場合、ケガ等の治療で一時的にフィールドを離れる場合も競技者を補充し常に8人としなければならない。
- ④試合中にケガ等による人数不足で8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する。ただし、いずれかのチームが6人未満となった場合、試合は中止される。その場合は、6人未満となったチームを敗戦したものとみなす。

(4) 競技者の交代

- ①自由な交代制とする。交代要員を8名まで登録し、8名まで交代できる。
- ②一度退いた競技者は交代要員となり再び出場することができる。また、交代の回数も制限しない。

【交代の手続き】

- ・交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールド外に出る。
- ・交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り競技者となる。
- ・交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中に関わらず行うことができる。ただし、ゴールキーパーの交代のみアウトオブプレー中に主審の承認を得て行い、退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点から出なければならない。
- ・ゴールキーパーの交代以外、交代について主審の承認を得る必要はない。ただし、交代する直前に第4審（補助審）から用具のチェックを受けることとする。

(5) ベンチ

- ①ベンチに入ることのできる人数は、選手16名、チーム役員3名を最大とする。
- ②ベンチ入りチームスタッフはD級以上のライセンス保持者に限る。

(6) ユニフォーム

- ①(公財) 日本サッカー協会ユニフォーム規定に適合した異色のもの2着（同色系2着は不可）を登録し、試合に際しそれを着用する。
- ②審判が通常着用する黒色と同一または類似した色のシャツを用いることはできない。ゴールキーパーについても同様である。
- ③アンダーシャツ、アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし、チーム内で同色のものを着用すること。シャツ、ショーツと異色のものを着用した場合、相手チームのユニフォームの色によっては、代表者ミーティングのユニフォーム決定の際、主審によって認められない場合もある。
- ④ソックスの上にテープを巻く場合も、その色は問わない。
- ⑤選手の用具（キャプテンアームバンド）について、フィールド上にアームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須としない。

(7) 審判

<予選リーグ>

- ① 1人制（補助審付き）を採用し、チーム帯同審判で行う。
- ② 主審と補助審は、4級以上の有資格者とする。

<準々決勝>

- ① 4人制を採用し、大会本部スタッフ、チーム帯同審判で行う。
- ② 主審、副審及び第4審は3級以上の有資格者とする。

<準決勝・3位決定戦・決勝>

- ① 4人制を採用し、大会本部スタッフまたは審判委員会からの派遣審判員で行う。
- ② 主審、副審及び第4審は3級以上の有資格者とする。

(8) その他

- ① 登録選手の変更は、チームの最初の試合60分前まで認める。
 - ② キックオフ60分前に代表者ミーティングを行い、審判団により試合に用いるユニフォームを決定する。その際持参するユニフォームは現物または写真（A4用紙にF P正副、G K正副の前面、背面からの着用全身写真を1セットずつ印刷された計4枚）とする。電子機器による表示は不可。
 - ③ G Kの交代について
 - ・ 試合中におけるG Kの怪我等の緊急時の交代に限り、代わりに入るF PはシャツのみF Pのサブユニフォームまたはビブスでの出場を認める。ただし、いずれも背番号は同じものとする。
 - ・ 試合中、戦術的目的でG Kを交代する場合は、同じ背番号とし、正G Kと同じユニフォームでなければならない。
 - ・ G KがF Pとなる場合は、他のF Pと同じユニフォームでなければならない。背番号が変わるのは認めない。
 - ・ P K戦においては、シャツを着替えることでの交代を認める。
F PからG Kに代わる場合は、G Kユニフォーム、F Pサブユニまたはビブスを着用する。
G KからF Pに代わる場合は、他のF Pのユニフォーム（シャツのみ）と同じでなければならない。ただし、いずれも背番号は同じものとする。
- ※上記可能性がありそうなチームは、事前に準備をしておくこと。

10. 警告・退場

- (1) 本大会期間中に警告を2回受けた選手等は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (2) 本大会において退場を命じられた選手等は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (3) 本協会諸規程および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

11. その他

- 各試合、役員は指導者ライセンス証の携行を義務付ける。指導者ライセンス証を携行しない場合、ベンチに入することは出来ない。